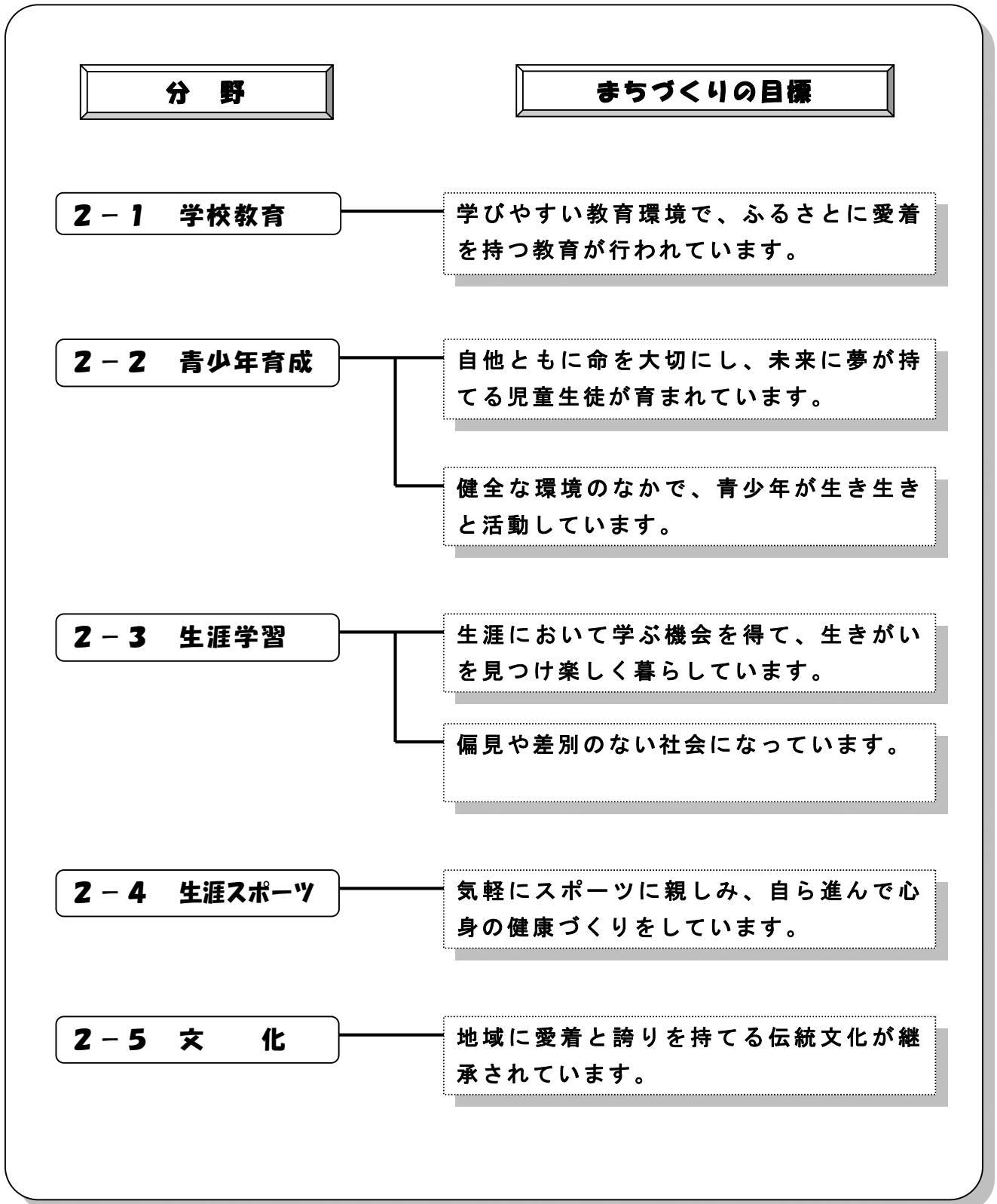


まちづくりの柱

第2節 教育・生涯学習・文化

【施策体系】







2-1 学校教育

■現状と課題

- 保護者や地域の信託にこたえ、子どもたちに学ぶ意欲と確かな学力、豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力、社会性や集団性を育む学校教育を推進していくことが求められています。
- 働く意欲や職業感の持てる教育を推進するとともに、夢を持った子どもたちを育む取り組みが必要です。
- 幼稚園・小学校においては、園児・児童が減少しています。そのようななか、地域の特性を活かした特色ある教育はさらに重要となっています。なお、小中学校においては、英語指導や、外国人児童生徒に対しての日本語指導、特別支援教育指導など、専門的知識や技能を持った指導者の確保が困難な状況となっています。
- すべての教育施設において、安全性を確保するとともに、心身の成長過程に必要な教育環境を整えることが求められています。
- 家庭、地域社会、学校、行政が連携し、命の大切さについての教育、心の教育、いじめ対策などを中心とした児童生徒へのカウンセリング※、教職員による教育相談の充実が必要となっています。

■目標達成に必要な施策と成果指標

こんなまちを目指します (まちづくりの目標)	学びやすい教育環境で、ふるさとに愛着を持つ教育が行われています。			
こんなことに取り組みます	施策		担当課	
	特色ある幼稚園や学校教育の推進		学校教育課	
	教育環境の整備		学校教育課	
行政と住民・事業者の役割	幼稚園と小学校と中学校の連携強化		学校教育課	
	行政の役割 ○学びやすい教育環境を整備します。 ○時代のニーズに応える教育施策に取り組みます。		住民・事業者の役割 ○積極的に学校活動に参加し、地域ぐるみで支援します。	
目標達成度を測る指標	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値	
			H24 (5年後)	H29 (10年後)
地域の伝統行事を教育課程に取り入れている時間数	63 時間	235 時間 (H23)		
小中学校の整備状況に満足している住民の割合	74.5%	80.4%		

※カウンセリング：専門家との話し合いを通じて、心理的な問題や悩みについて相談したり、助言を受けたりすること。

■ 目標達成に必要な施策と成果指標

こんなまちを目指します (まちづくりの目標)	自他ともに命を大切にし、未来に夢が持てる児童生徒が育まれています。			
こんなことに取り組みます	施策		担当課	
	カウンセリングの充実		学校教育課	
	心の教育の充実		学校教育課	
行政と住民・事業者の役割	行政の役割		住民・事業者の役割	
	○家庭、地域社会と連携し、相談体制の充実を図ります。		○身近な人が相談相手になります。 ○学校と積極的に情報交換を行います。	
目標達成度を測る指標	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値	
			H24 (5年後)	H29 (10年後)
	不登校児童、生徒の割合	0.8%	1.0%(H23)	0.7%
スクールアドバイザー※等の配置数	2人	1人	3人	4人

※スクールアドバイザー：幼稚園、小・中学校を対象に、不登校児童・生徒やその保護者のカウンセリング、また、教職員への指導・助言などを行う、豊富な経験と専門的な資格を持った相談員。

2-2 青少年育成

■現状と課題

- 近年、少子化、核家族化の進行により生活様式や意識が変化し、地域社会の人間関係も希薄化しています。このような中、青少年の社会的自立の遅れや地域でのふれあいや体験が不足していることに起因する凶悪事件やいじめ問題が多発し、また、インターネットや携帯電話の普及による情報化社会の進展に伴い、性や暴力に関する情報が氾濫するなど、青少年を取り巻く環境は悪化しています。
- また、青少年には生命を尊重する心や物を大切に作る心、我慢する心、相手を思いやる心など、心の豊かさや精神的なたくましさに欠ける傾向が見られ、心の教育の充実の必要性が重要な課題となってきています。
- 生活形態の相違や価値観の違いなどから、地域住民の意識の多様化が進み、従来からの地縁的で共同体的な関係が弱体化してきており、隣近所に無関心など、人間関係の希薄化も進んできています。
- 青少年のボランティア活動を奨励するとともに、家庭や団体活動において、青少年への積極的な関わりやコミュニケーションの充実が求められています。

■目標達成に必要な施策と成果指標

こんなまちを目指します (まちづくりの目標)	健全な環境のなかで、青少年が生き生きと活動しています。			
こんなことに取り組みます	施策		担当課	
	青少年活動の支援		生涯学習課	
	青少年の活動環境の整備		生涯学習課	
行政と住民・事業者の役割	家庭教育力の向上		生涯学習課	
	行政の役割		住民・事業者の役割	
	○青少年が進んで活動に参加できる環境整備を行います。		○幅広い年齢層が地域活動に参加し、交流を深めます。	
目標達成度を測る指標	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値	
			H24 (5年後)	H29 (10年後)
毎朝家族と食事をしている児童、生徒の割合(家族のだれかと)	72.4%	71.3% (H23)	75%	80%
青少年の補導件数(垂井署管轄内)	567件	236件		
子ども会など青少年育成活動やPTA活動に参加した住民の割合	16.4%	16.1%		

2-3 生涯学習

■現状と課題

- 人々の価値観やライフスタイルが多様化し、住民の生涯学習に対する意識や活動範囲は広範・多岐にわたるとともに、団塊の世代などに生涯学習への参加を促すため、幅広いニーズの把握が求められています。
- 町の公民館は、地域に根差した地域づくりに活発に取り組んできました。ところが、少子高齢化、地域防災など、新たな地域の課題も生まれてきています。公民館が行ってきた成果の土台にたち、公民館をコミュニティづくりの「核」となる施設として更に発展させ、新たな地域課題に行政と住民が協働し取り組み解決していくことが求められています。
- 余暇時間の増大や自己向上意欲の多様化に伴い、学習機会の充実とその活動を支えるボランティアの拡大が求められています。また、利用しやすい生涯学習施設の整備、推進体制の充実などが求められています。
- 近年、芸術や文化への関心が高まってきており、住民主体の生き生きとした芸術・文化活動が展開されています。
- 男女共同参画社会※の実現に向け、各種事業のなかでの意識の啓発、審議会などへの女性の積極的な参画が求められています。
- 今後もより一層、家庭、地域社会、学校において人権教育の展開が求められています。
- 中南米の日系人をはじめ、外国籍住民が増加することは、町の将来像に多様性をもたらすという意味で大きな可能性を見出すことができます。しかし、現時点では、多文化共生※を促進するためには、まだ十分な対応ができていないとは言い難い面があります。

【関連計画】

垂井町第2次男女共同参画プラン
 (平成25年度～平成34年度)
 垂井町人権施策推進指針
 (平成22年度～平成31年度)

生涯学習施設の利用延べ人数の状況

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
中央公民館	大ホール関係	10,702	8,740	7,186	7,678	8,590	8,556	8,469
	会議室関係	17,028	15,524	14,736	13,588	14,675	15,173	14,686
文化会館	大ホール関係	29,830	32,701	32,373	29,700	29,171	31,614	27,398
	小ホール関係	11,130	12,176	10,968	12,446	13,853	14,117	12,022
	会議室関係	14,195	13,186	13,840	16,543	15,804	19,968	21,720
タリピピアセンター	図書館	152,502	145,807	136,581	136,827	141,199	148,120	142,796
	歴史民俗資料館	23,512	20,534	16,806	17,973	19,459	15,815	18,922
	歴史文献センター	431	354	448	767	842	327	341
朝倉運動公園	町民体育館	19,717	21,334	22,485	23,916	22,498	22,920	23,749
	野球場	7,654	7,857	8,180	10,212	9,269	6,809	3,064
	第1テニスコート	2,409	2,228	2,457	2,808	2,563	2,531	1,966
	第2テニスコート	4,519	4,299	4,243	2,096	2,764	2,554	2,477
	第3テニスコート	-	-	-	5,427	6,705	8,364	7,147
	体育センター	11,405	11,215	9,703	8,281	8,250	7,070	6,099
	町民プール	7,940	8,905	8,617	10,128	6,960	8,526	7,692
	多目的グラウンド	7,452	10,374	7,726	8,155	7,104	7,408	6,784
	自由広場	6,250	9,355	11,320	9,526	7,988	5,799	5,977
	集いの広場	3,071	1,138	1,473	1,332	1,335	1,524	2,080
スポーツグラウンド	5,217	6,628	6,929	7,587	3,876	5,673	3,774	
合計	334,964	332,355	316,071	324,990	322,905	332,868	317,163	

(資料: 中央公民館、文化会館、タリピピアセンター、朝倉運動公園)

※男女共同参画社会：男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、それにより男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会。
 ※多文化共生：国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

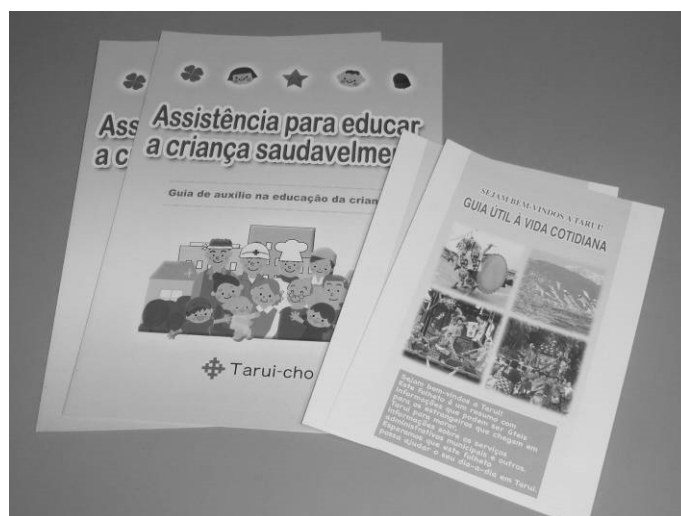
■ 目標達成に必要な施策と成果指標

こんなまちを目指します (まちづくりの目標)	生涯において学ぶ機会を得て、生きがいを見つけ楽しく暮らしています。			
こんなことに取り組みます	施策		担当課	
	社会教育事業の充実		生涯学習課	
	社会教育施設の整備		生涯学習課	
	芸術文化活動の充実		生涯学習課	
行政と住民・事業者の役割	行政の役割		住民・事業者の役割	
	○ 利用しやすい生涯学習環境を整備します。		○ 1人1学習に積極的に取り組み、教養を高めます。	
目標達成度を測る指標	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値	
			H24 (5年後)	H29 (10年後)
学級や講座の参加者数	10,128人	11,714人 (H23)	11,000人	12,000人
社会教育施設(文化会館、タリイピアセンター図書館、中央公民館、各地区公民館)の利用者数	310,216人	303,438人 (H23)	320,000人	330,000人
タリイピアセンターの図書の貸し出し数	209,874冊	236,335冊 (H23)	220,000冊	240,000冊
学級や講座の講師登録者数	202人(H14)	226人 (H23)	230人	260人
趣味や教養を高める場所に満足している住民の割合	51.8%	55.2%		
スポーツクラブや文化サークルなどの活動に参加した住民の割合	15.9%	15.9%		

■ 目標達成に必要な施策と成果指標

こんなまちを目指します (まちづくりの目標)	偏見や差別のない社会になっています。			
こんなことに取り組みます	施策		担当課	
	男女共同参画社会の推進		企画調整課 生涯学習課	
	人権意識の高揚		健康福祉課 学校教育課 生涯学習課	
行政と住民・事業者の役割	多文化共生社会の推進		企画調整課 生涯学習課	
	行政の役割		住民・事業者の役割	
	<ul style="list-style-type: none"> ○男女共同参画社会の実現に向け啓発を推進します。 ○人権教育や地域への啓発を推進します。 ○在住外国人と地域住民が共生するための体制を整備します。 		<ul style="list-style-type: none"> ○家庭や地域、企業それぞれの場でお互いの立場を尊重します。 ○地域活動など様々な活動に進んで参加し、人権の重要性を認識します。 ○在住外国人とコミュニケーションを図り、相互理解を深めます。 	
目標達成度を測る指標	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値	
			H24 (5年後)	H29 (10年後)
審議会などへ参加している女性の割合	22.4%	29.7%	28%	30%
人権問題などの町民活動に参加した住民の割合	3.9%	2.4%	➡	➡

※審議会などへ参加している女性の割合：《中間値》女性委員数 108 人 ÷ 全委員数 364 人



外国語パンフレット

2-4 生涯スポーツ

■現状と課題

- スポーツ基本法の制定により、スポーツの推進が国家戦略として位置づけられ、今後益々スポーツ・レクリエーションの活性化が求められています。
- スポーツ人口が減少してきており、今後は、生涯スポーツ振興計画を踏まえたスポーツ事業の充実をはじめ、クラブ・団体・指導者などスポーツボランティアの育成、活用、情報提供など、体系的な施策の展開が必要となっています。また、「スポーツの町宣言」に沿ったさらなるスポーツの振興が必要となっています。
- 行政、体育協会、総合型スポーツクラブ「レッツ」など、スポーツ活動の推進に取り組んでいる関係団体の連携強化が求められています。
- ウォーキングなどの軽スポーツにより、健康・体力づくりを行えるような環境づくりが求められています。
- 朝倉運動公園などの一部のスポーツ施設で老朽化が進み、利用者ニーズの多様化に対応した施設の整備や管理が求められており、そのための財源確保や効率的な施設運営が必要となっています。






【関連計画】

垂井町生涯スポーツ振興計画
(平成20年度～平成29年度)



朝倉運動公園で開催された
ぎふ清流国体軟式野球競技
(平成24年9月30日～10月3日)

■ 目標達成に必要な施策と成果指標

こんなまちを目指します (まちづくりの目標)	気軽にスポーツに親しみ、自ら進んで心身の健康づくりをしています。			
こんなことに取り組みます	施策		担当課	
	スポーツ活動の推進		生涯学習課	
行政と住民・事業者の役割	行政の役割		住民・事業者の役割	
	○スポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。		○1人1スポーツに取り組み、健康づくりに励みます。	
目標達成度を測る指標	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値	
			H24 (5年後)	H29 (10年後)
スポーツ少年団の加入率	25.3%	22.3%	27%	28%
体育施設(南体育館、北部グラウンド、各小中学校の体育館・グラウンド、朝倉運動公園)の利用者数	173,089人	191,276人 (H23)	180,000人	
グラウンドや体育館などのスポーツ施設に満足している住民の割合	61.4%	66.3%		
スポーツクラブや文化サークルなどの活動に参加した住民の割合	15.9%	15.9%		

※スポーツ少年団の加入率：《中間値》加入数 379人 ÷ 児童数 1,697人



※体育施設の利用者数：《目標値変更》既に、H29当初目標値 183,000人を達成したため。

2-5 文化

■現状と課題

- 今日では経済的な物の豊かさ以上に、こころの豊かさを人々は求めています。
- 芸術や文化には楽しさや感動、精神的なやすらぎを感じさせ、人生を豊かにする働きがあり、現在では、町内においてさまざまな活動が行われています。
- 伝統行事への参加者や伝承芸能の担い手が固定化・減少化しており、住民の意向に即した活動や後継者の育成支援が必要となっています。
- 史跡や文化財の保存、また、景観整備を進めるため、古い建物の調査やボランティアなどによる住民協働型の施策展開を図っていくことが必要となっています。
- 垂井町の様々な歴史や文化を紹介する企画展の開催や新たな文化財冊子の発行などが求められています。

■目標達成に必要な施策と成果指標

こんなまちを目指します (まちづくりの目標)	地域に愛着と誇りを持てる伝統文化が継承されています。				
こんなことに取り組みます	施策		担当課		
	郷土芸能の継承		生涯学習課 産業課		
	文化財の保存と活用		生涯学習課 産業課		
行政と住民・事業者の役割	行政の役割		住民・事業者の役割		
	○文化財の整備と継承活動を支援します。		○伝統文化の保存や継承活動に参加し、愛着と誇りを持ちます。		
目標達成度を測る指標	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値		
			H24 (5年後)	H29 (10年後)	
	タリイピアセンター 歴史民俗資料館、歴史 文献センターの入場 者数	20,888人	18,922人 (H23)	22,000人	23,000人
	文化財など歴史的資源の 保護、保存状況に満足 している住民の割合	70.5%	73.1%		
地域の祭り、伝統芸能 などの保存継承活動に 参加した住民の割合	23.1%	21.7%	